

みんなで考えよう! 「性」のこと!

「ふ・つ・う」って何?

性はいろいろ

監修

田代 美江子

編著 アルバ



はじめに

みなさんは「ふつう」という言葉を使いますか？ どのときに使いますか？

社会の中には、「ふつう」と思われていることがたくさんあります。その中でも、例えば、「男は泣いてはいけない」とか、「女はかわいいものが好きなはず」といった性に関わる「ふつう」は、わたしたちのまわりにたくさんあります。その「ふつう」が、本当に「ふつう」のことなのかを、みなさんといっしょに考えてみたいのです。

「ふつう」という言葉は、多くの場合、まわりと「同じ」で「ちがいがない」ことをあらわします。「ふつう」だとな

んとなく安心できるかもしれません。でも、みんな「同じ」じゃないとダメなのではないでしょうか？ そして、みんな「同じ」なんてことが本当にあるのでしょうか？ みなさんはどう思いますか？

性の「ふつう」について考えて、「ふつう」をのりこえることは、みんなの「ちがい」を認めて一人ひとりを大切にすることにつながるかもしれません。それは、自分自身がどうしたいのか、どう生きていくのかを自由に考えることにつながります。そして、「ちがい」のあるいろいろな人と出会い、なかよくなれるチャンスを広げてくれます。

もくじ



はじめに 2

「ふつう」って、ある? 6

なぜ「ふつう」だと思うんだろう? 7

性別についての思いこみ 8

ジェンダーバイアスはどこでつくられる? 9

マンガ 「おねえちゃんの恋人」 10

性はいろいろ 16

インタビュー 話を聞いてみよう 18

まの ゆたか 眞野 豊さん / たいら あいか 平良 愛香さん /

あっきーさん / すぎやま ふみの 杉山 文野さん

性も生き方も人それぞれ 28

マンガ 「制服を選べる学校」 30

選択肢があると**可能性**が広がる! 36

みんなを包みこむ**社会** 37

日本の**取り組み** 38

国内の**地方公共団体**の**取り組み** 40

世界の**取り組み** 42

「**ノーマル**」をなくす 43

わたしとはちがう人、人とはちがう**わたし** 44

いろいろな人がいっしょに生きられる**社会**をつくる 46

「ふつう」って、ある？

家に入るときには靴をぬぐ。車は左側通行。そんなのふつうって思うかな？

でも、世界には靴をぬがずに家で過ごす国も、車が右側を走る国もたくさんあります。「ふつう」だと思っていたことが、自分だけのふつうだったということ、ありませんか？

うちのお雑煮は四角いおもちで、しょうゆ味なんだけど、京都でお雑煮を食べたら丸いおもちでみそ味だった。京都ではそれがふつうって言われてびっくりしたよ。

日本では4月入学がふつうだけど、海外では9月入学が多いって聞いたよ。4月に入学するのは日本の習慣なんだね。

今は大人ならだれでも選挙で投票したり立候補したりできるのがふつうだけど1945年までは大人の男性しかできなかったんだよね。

地域や時代が変わると「ふつう」と言われていたことが「ふつう」ではなくなることもありますね。「あの地域ではそうなんだ」「あの時代はそうだったんだ」というふうに、個性や特徴として感じられるようになります。

わたしたち人間も同じで、「ふつう」の人はいないんです。



なぜ「ふつう」だと思っただろう？

申し込み用紙などに、名前、年齢を書いて、男か女かに○をつけたことがありませんか。なぜ性別を書く欄があるのでしょうか。性別が男か女かは「ふつう」の質問だから気にしなかった、という人も多いかもしれません。

でも、わたしたちの社会には、男と女のどちらに○をつけようか迷う人もいます。どちらにも○をつけたくないと思う人もいます。それはなぜでしょう。



東南アジアのタイという国では、性の名前が18種類あるそうです。「男」「女」はそのうちの2つ。でも、その18種類のどれにもあてはまらない人もいます。本来、性の種類はもっと多くて、人の数だけあるからです。

友だちとぼくは性がちがうってこと？

知らない間にそれぞれのちがいがより決められた性に合わせているのかな？

性別についての思いこみ

男と女のどちらかしか選べない性別記入欄は、「性別は男女のどちらかだ」という思いこみからつくられたものです。性別についての思いこみはそれだけでしょうか。ほかにも思いこみがないか、考えてみましょう。

下の質問に答えてみてください。

正解・不正解はありません。

Q1 | 校長先生は、男性と女性、どちらがふさわしい？

Q2 | スーツを着た男性と女性、どちらが上司だと思う？

Q3 | 学校の生徒（児童）会長は、男子と女子、どちらがふさわしい？

Q4 | 理科や数学が得意なのは、男子？ 女子？

Q5 | 料理が得意なのは、男子？ 女子？

Q6 | 片づいているのは、男性の部屋？ 女性の部屋？

★ ジェンダーバイアス

上の6つの質問は、あなたに「ジェンダーバイアス」があるかをチェックするものです。ジェンダーバイアスとは、性別についての先入観や、偏見（かたよった見方）を意味します。「男の子のくせに」「女の子なんだから」というのは、ジェンダーバイアスです。

上の6つの質問で、あなたがひとつでも男女のどちらかを選んだとしたら、あなたにもジェンダーバイアスが少しだけあるのかもしれませんが。

ジェンダーバイアスがあると、人や自分自身の生き方をきゅうくつにしてしまうことがあります。

ジェンダーバイアスはどこでつくられる？

ジェンダーバイアスはどこでつくられていると思いますか。マンガやテレビドラマ、コマーシャルや映画、インターネットなどあらゆるところで、「男らしさ」「女らしさ」が、決まった形で表現されていることがあります。家や学校でもあるかもしれません。そういう日常に見聞きする情報に、わたしたちは影響を受

けていて、いつのまにかジェンダーバイアスをふつうと思うようになっていく可能性があります。

みなさんも、まわりのジェンダーバイアスを探してみましょう。そうすると、今までふつうだと思っていたことが、ちがって見えてくるかもしれません。

ジェンダーバイアスを解消する取り組み

ジェンダーニュートラルのおもちゃ

ジェンダーニュートラルは「性について中立的」という意味。女の子や男の子に限定しないままごとセットや、工具おもちゃなどがあります。右の写真はアメリカで販売されているマテル社の人形。髪型を変えることができます。多様な肌の色や髪型、服があり、人種や性別などに制限されずに遊ぶことができます。人形用の車いすや、義肢の人形もつくられています。



PHOTOGRAPHY BY SACHIE ABIKO

すべての人に向けたあいさつ

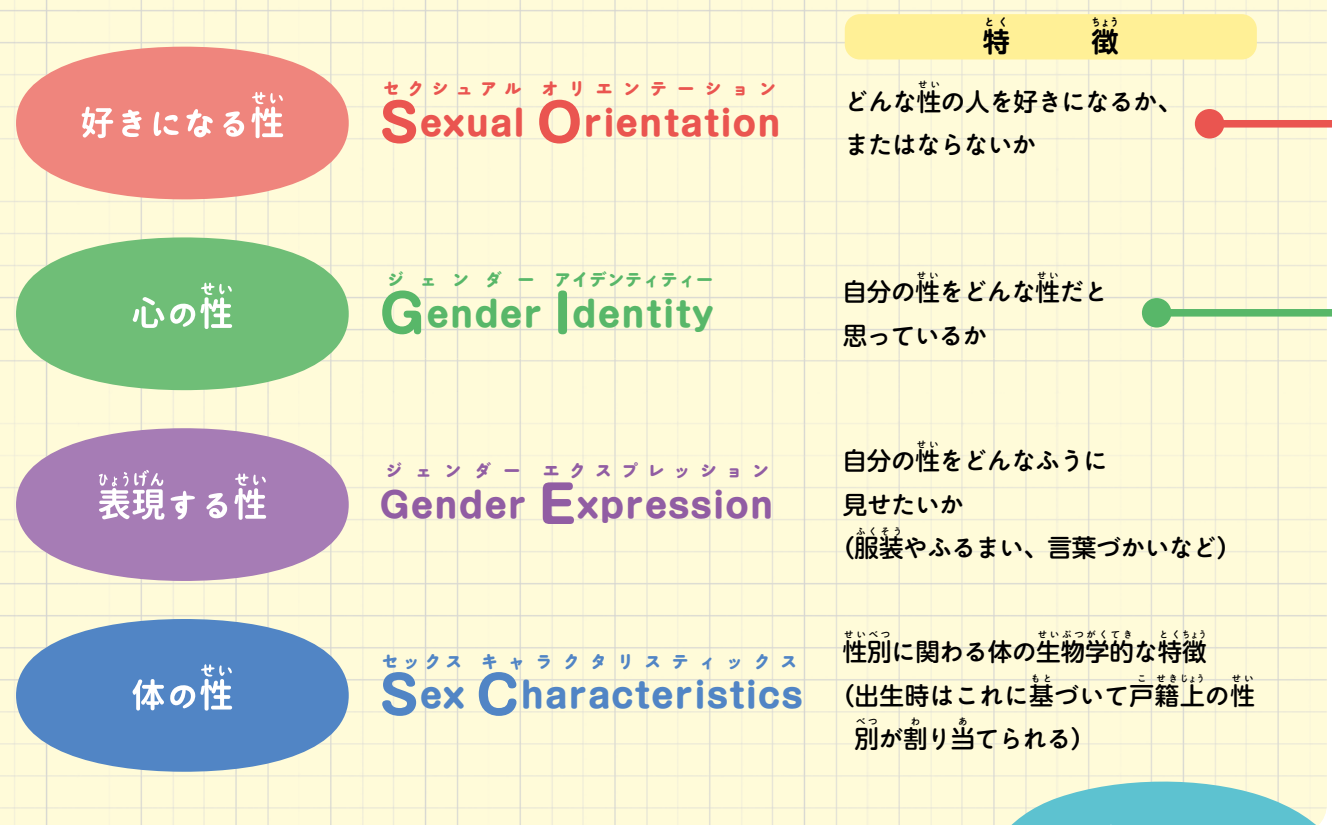
日本航空やJR東海では、英語の案内で男性と女性に限っていた「レディス・アンド・ジェントルメン」の呼びかけを廃止しました。多様な性に対応する「オールパッセンジャーズ（乗客のみなさま）」や、歓迎のあいさつ「ウェルカム」に言いかえています。

性はいろいろ

性の種類は「男」「女」だけではなくたくさんある、と紹介しました。それでは、たくさんの性にはどのようなちがいがあるのでしょうか。あらためて性別について考えてみましょう。

いろいろな性の「見方」— SOGIESC という考え方

性は、選択肢から選ぶものではなく、「自分はこうだな」と感じる自由なものです。性の見方としてよく知られているものに、体の特徴による性がありますが、下の図のようにほかの見方もあります。これらの見方の組み合わせに決まりはありません。



この4つの見方から考える性のありようを、英語の頭文字をつなげて「SOGIESC」と呼びます。4つの特徴を組み合わせると、たくさんの種類の性がありますね。同じ組み合わせでも、その傾向が強かったり弱かったりするので、まったく同じ性の人はいません。

心の性が同じ人でも好きになる性や表現する性がちがったらちがう性ということだね！



★ いろいろな性 — LGBTQ+

いろいろな性をあらわす言葉の例として、下のよ様な言葉があります。そして、こうしたさまざまな性をあらわす語としてLGBTQ+という言葉が使われています。LGBTは、レズビアン (Lesbian)、ゲイ (Gay)、バイセクシュアル (Bisexual)、ト

ランスジェンダー (Transgender) の頭文字です。Qは自分の性についてよくわからない、決めていない、こだわらないというクエスチョニング (Questioning) やクィア (Queer)、+はさらにそのほかの性をあらわしています。

- 自分とちがう性の人を好きになる ……ヘテロセクシュアル (Heterosexual)
- 自分と同じ性の人を好きになる ……ホモセクシュアル (Homosexual)
- 女性として女性を好きになる ……レズビアン (Lesbian)
- 男性として男性を好きになる ……ゲイ (Gay)
- 男性も女性も好きになる ……バイセクシュアル (Bisexual)
- どの性でも好きになる ……パンセクシュアル (Pansexual)
- どの性も好きにならない ……アセクシュアル (Asexual)

- 心の性が体の性と一致している ……シスジェンダー (Cisgender)
- 心の性が体の性と一致していない ……トランスジェンダー (Transgender)
- 男性とも女性とも思っていない / 決めたくない ……Xジェンダー (X-gender)

性をあらわす言葉は、上で紹介したものだけではなく、まだまだたくさんあります。例えば多くの人利用するSNSのFacebook (アメリカ版) では、基本データにある性別の項目は、男や女以外にアジェンダーやバイジェンダー、ノンセクシュアルなど56種類が用意されています。世の中には多様な性があり、考え方や表現のしかたもちがいます。どんな性があるのか調べてみてもよいですね。

クエスチョニングって「？」ってことだよなわからないという性もあるんだね

とても全部に名前をつけられない！ほんとにいろいろな性があるんだね



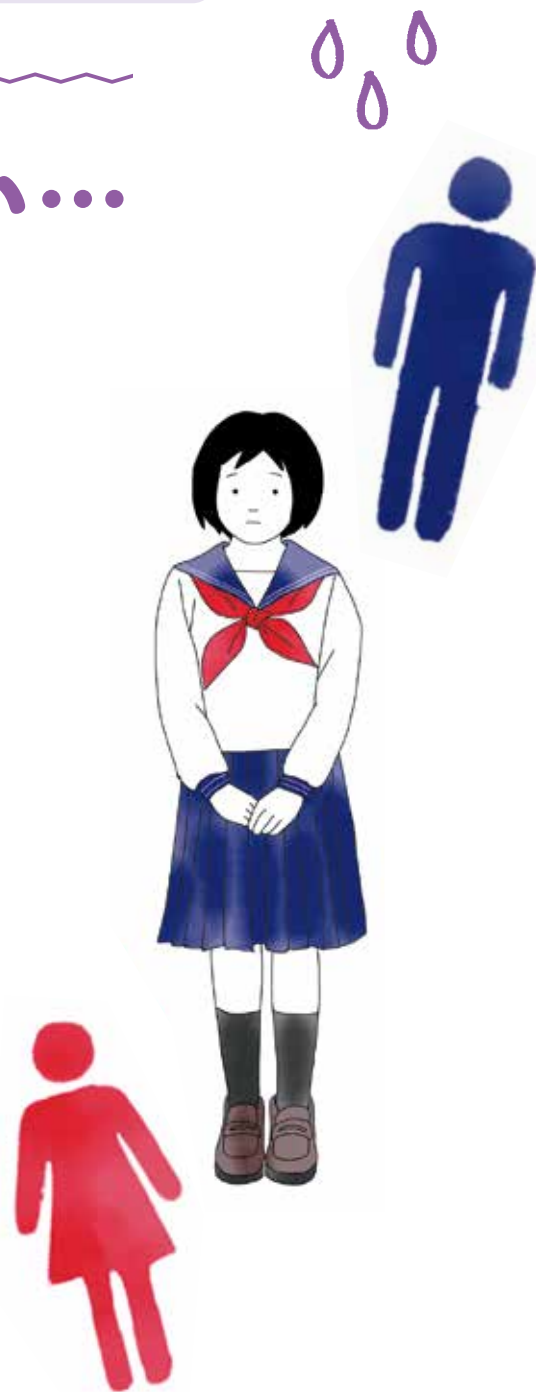
あつきーさん

講師。「性の多様性」をテーマに、講演やワークショップを行っています。

トイレに入れない…

小さなころから、女の子あつかいされるのがいやでした。でも、ほかの女の子も、みんないやだと思いがまんしていると思っていたんです。中学生のころ、女の子の制服はセーラー服と決められていて、自分はとてもいやでした。でも、まわりの女の子たちは「うれしい」って本当に喜んでいて、がまんしていないことがわかりました。そのときに、自分はほかの女の子とちがうのかなと気づきました。

ただ、なぜちがうのかまではわかりません。小学校でも、中学校や高校でも、性の多様性を学ぶ授業はなかったからです。わからないので相談もできません。性別が男女の2つに分かれている場面はこまりましたね。例えばトイレ。自分は男だと感じているので、女子トイレに入るのははずかしい。男子トイレに入ったら変な目で見られたり、先生にも「何かのネタか？」と冗談にされて笑われたりしてしまう。せめて先生や友だちが性の多様性を少しでも学んでいたら……。せめて男女兼用など3つめの選択肢があったら……。



「男子学生」になれた！

大学の授業で、はじめて性の多様性について学び、「トランスジェンダー」という言葉が自分にあてはまるとわかりました。自分の「正体」がわかり、すごくうれしかったです。自分を「説明できる言葉」に出合って、相談もできるようになり、人間関係もよくなっていきました。

でも、性別のこまりごとは減りません。例えば、大学では戸籍どおり女子学生として登録され、健康診断や体育は女子の中で受けなければいけません。名前もこまりごとのひとつ。テストや書類で女の子らしい本名を書くことがつらいのです。ずっとがまんし続けて

いましたが、大学生のころには手がふるえたり、冷汗が出たりして、名前を書くことができなくなっていました。

あるとき、大学内に人権委員会があることを知り、「苦しみを生み出す相手が、人間ではなく環境やシステムでも、人権委員会は対応してくれますか？」と先生に相談しました。すると、先生も大学も改善に取り組んでくれたのです。自分で認識する性別「男子」で、さらには希望する名前で、大学生活を送れるようになりました。この取り組みは、後に希望する学生がだれでも使える制度に整えられました。

自分の経験が考える材料に

大学卒業後、戸籍の名前を希望の名前に変更することができました。でも性別は、すぐには変更できず、就職活動の書類の「男・女」の性別欄に悩みました。最近は、性別欄のない書類もありますね。当時もそういうのがあればよかった……。

性の多様性を多くの人知らないために、学校でも社会でも、さまざまなこまりごとがあります。あるとき、看護師や養護教諭の勉強会で、あなたの経験を話してほしいと言われました。わたしのこまった経験や、こんな助けがあればという気づきが、同じように苦しむ人を助け、性の多様性を考える材料になるとわかったのです。それが講師という現在の仕事につながっています。



どんな世の中にしたい？

人とちがう自分も、自分とちがう人も、「いいね！」ができる世の中。だれもが「自分のこうありたい！」というきもちを大切に生きていく世の中。これがわたしの理想かな。あなたはどんな世の中で生きたい？ あなたの理想も「いいね！」。ちがう理想も大切にできる方法を、いっしょに学んで、考えて、話し合っていきましょう！